

栗原地域だより

第 29 号

平成 29 年 1 月 5 日発行

目次

- 栗原地方青年文化祭「バンドフェスティバル 2017」が開催されます p1
- 良質なたけのこの生産を目指して ～竹林整備研修会を開催～ p2
- 栗原産の肥育素牛が全国肉用牛枝肉共励会で日本一！ p2
- 親子体操セミナー「子どもも大人もみんなでメタボ予防」を実施しました p3
- 栗原地域事務所では多面的機能支払に取り組む組織を支援しています
～曽根地域環境を守る会～ p4
- 栗原イベント情報（1月・2月） p5
- 農林産物の放射性セシウム濃度を検査し安全性を確認しています p6

渡り鳥のねぐら入り



栗原地方青年文化祭「バンドフェスティバル 2017」が開催されます

北部教育事務所栗原地域事務所

地域の芸術文化事業として、青年たちが主体となって行う栗原地方青年文化祭が、1月29日（日）午前10時から若柳総合文化センターで開催されます。

イベントのメインとなる「バンドフェスティバル」は、栗原市内及び近隣市町の軽音楽愛好家による演奏発表会で、今年で20回目となります。今年も、青年バンド10団体に加え、築館高校、佐沼高校、登米高校の3校から高校生バンドを募り、高校生の演奏枠を設けました。高校生から社会人まで、軽音楽を愛する青年たちが思いを込めて演奏します。



昨年度の発表の様子

また、展示部門では、市内の高校生や一般の方による絵画、写真、書道、鉄筋アートなどの力作を紹介する予定です。

「バンドフェスティバル」の入場料は、前売りチケット500円（当日700円）、高校生以下は無料です。また、展示部門の入場料は無料です。

青年文化祭に関する問い合わせは、下記まで。

- お問い合わせ バンドフェスティバル実行委員会（千葉） Tel：090-2972-8683
- または、 北部教育事務所栗原地域事務所 教育班 Tel：0228-22-2132

良質なたけのこの生産を目指して ～竹林整備研修会を開催～

北部地方振興事務所栗原地域事務所

若柳地区のたけのこは、福島第一原子力発電所事故の影響により出荷制限が続いていますが、放射性セシウム濃度は、年々減少傾向にあり、来年度以降の出荷制限解除が期待されています。しかし、生産者の高齢化等により、たけのこを生産する竹林の管理が不十分となっており、たけのこの品質や生産量への影響が懸念されています。

こうした状況を踏まえ、健全な竹林整備による良質なたけのこの生産や、竹材の有効利用の推進を目的に、12月7日に「竹林整備研修会」を若柳地区武鎗で開催しました。

当日は、15名のたけのこ生産者らが参加し、始めに、当事務所から適正な竹林整備手法について説明を行った後、管理不十分な竹林と適正に伐採を行った竹林の比較検討を行いました。また、竹材の有効利用については、竹チップの農業利用事例を紹介するとともに、チップ製造機械メーカーの協力を得て竹チップの製作体験をしてもらいました。参加者は、初めて操作する小型チップ機械の処理能力と均一なチップの仕上がりの良さに感心した様子で、竹林整備の必要性和竹材の有効活用について理解と関心を深めることができました。

なお、製作体験で発生した竹チップは、地元農家の協力により若柳地区の特産品である「ブルーベリー」の株元を覆うマルチング資材として試験的に利用しています。

当事務所では、竹チップのマルチング資材としての効果等について追跡調査を行うとともに、栗原市全域のたけのこの出荷制限解除を目指し、引き続き、竹林の適切な整備推進など、良質なたけのこの生産を支援してまいります。



竹チップ製作体験の様子

■お問い合わせ : 林業振興部 林業振興班 Tel : 0228-22-2381

栗原産の肥育素牛が全国肉用牛枝肉共励会で日本一に！

北部地方振興事務所栗原地域事務所

平成28年10月28日に東京都中央卸売市場食肉市場で開催された「平成28年度全国肉用牛枝肉共励会」で、宮城県産の肥育牛（肉用牛）が最高賞となる名誉賞を獲得しました。

この肥育牛は、栗原市の繁殖農家である久光勝利さんが生産した、「肥育素牛」と呼ばれる子牛（「利茂洋」号（父：「茂洋」号）を、石巻市の肥育農家が家畜市場から購入し、長い時間をかけ肥育した牛です。肥育素牛の生産者である久光さんは、平成28年12月1日の「第24回仙台牛の集い」で、名誉賞素牛生産者として、知事から表彰されました。

本共励会は、全国の肥育農家から、選りすぐりの肥育牛500頭（交雑去勢70頭、和牛去勢270頭、和牛雌160頭）が出品されるレベルの高い共励会で、県内屈指の子牛生産地で、より良い肉用牛を生産する基盤である栗原地域としては、平成29年度に宮城県で開催される「第11回全国和牛能力共進会宮城県大会」に向け、大変弾みのつくニュースとなりました。

栗原地域の和牛生産農家の方々は、みやぎ全共出品対策部、JA 栗っこ、栗原市及び県と連携を図りながら、来年度の全国和牛共進会で悲願の日本一を獲得するため、出品技術向上研修会、集合審査等を毎月開催し、日々頑張っています。

■お問い合わせ 畜産振興部 畜産振興班 Tel：0228-22-2487



表彰者一同（仙台牛の集い）



出品技術向上研修会の様子

親子体操セミナー「子どもも大人もみんなでメタボ予防」を実施しました

北部保健福祉事務所栗原地域事務所

栗原市では、肥満傾向児の割合が全国平均値を大きく上回っており、また30代や40代の親世代の男性の肥満者の割合も高くなっていることをご存じでしょうか？

肥満の原因の1つとして運動不足などの生活習慣が考えられますが、運動不足を解消するには、親子が日常生活の中で無理なく楽しみながら活動量を増やすことが必要です。

このため、当事務所では、日常生活の中に親子でふれあいながら運動を取り入れるきっかけをつくり、継続的に身体活動量の増加を図るため、親子で楽しめる体を使ったあそびを体験する「親子体操セミナー」を、10月9日にみちのく伝創館で行いました。

当日は、ベガルタ仙台のベガルタチアリーダーズとベガッ太君を講師に迎え、約350人の親子が手ぬぐいストレッチやチアリーディング練習に汗を流しました。また、栗原市の保育士さんや栗原市のマスコットキャラクター「ねじりほんによ」も参加して、「ねじりほんによダンス」に挑戦しました。



参加者に配布した手ぬぐい



手ぬぐいを使ったストレッチ

1 時間ほどのセミナーでしたが、参加者からは、「親子一緒に楽しかった」、「日ごろの運動不足の解消になった」、「家庭でも実施したい」などの感想がありました。

当事務所では、今後も、親子でふれあいながら楽しくできる健康づくり活動をすすめていきます。

(なお、本事業は栗原市の協力の下、「元気なくりはらっ子大会 2016」において実施しました。)



参加者みんなで記念撮影

■お問い合わせ : 栗原保健所 成人・高齢班 Tel : 0228-22-2116

栗原地域事務所では多面的機能支払に取り組む組織を支援しています
～曾根地域環境を守る会～

北部地方振興事務所栗原地域事務所

農業・農村には、洪水や土砂崩れの防止、自然環境の保全、美しい風景などの形成などの様々な働き(「多面的機能」)があります。「多面的機能支払」制度は、このような農業・農村の様々な機能の維持・発揮に向け、地域組織が共同で実施する取組を支援するものです。

栗原市内で多面的機能支払に取り組んでいる「曾根地域環境を守る会」では、普及啓発活動の一環として子供たちとの交流に積極的に取り組んでおり、平成 22 年度から仙台市立荒町小学校との農業体験交流を継続して行っています。

10月28日、今年度3回目となる「バケツ稲交流会」が荒町小学校において開催され、児童たちは班ごとに育て収穫したバケツ稲の脱穀・もみすり・精米作業を、悪戦苦闘しながらも楽しそうに行っていました。

また、栗原市一迫の曾根生活センターで開催された12月4日の収穫感謝祭では、地元の長寿会や子供会を含め71名が参加し、自ら育てた米の食味コンクールの結果報告や荒町小学校からのお礼状の紹介等のほか、つきたてのお餅や手作りの米粉ピザ等の振る舞いが行われ、親睦を深めていました。



バケツ稲交流会(精米道具の使い方)



収穫感謝祭(出前講座の様子)

なお、当事務所ではこれらの行事の際に、「農業・農村がもつ多面的機能」について紹介する出前講座を行っています。出前講座の希望がありましたら、お気軽にご相談ください。

■お問い合わせ 農業農村整備部 管理調整班 Tel：0228-22-2458

栗原イベント情報（1月・2月）

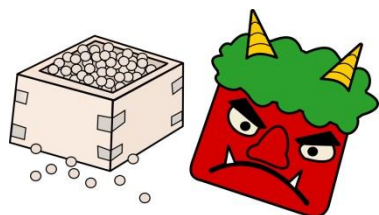
北部地方振興事務所栗原地域事務所

<1月>

日にち	イベント名	地域
12/3(土)～ 1/14(土)	くりこまイルミネーション	栗駒
1/14(土)	せみね裸参り	瀬峰
1/14(土)	栗駒火まつりどんと祭	栗駒
1/15(日)	第37回小僧不動の滝寒中みそぎ	一迫



<2月>



日にち	イベント名	地域
2/3(金)	春を呼ぶ裸たるみこし	一迫
2/11(土)～ 2/12(日)	第12回花山雪っこまつり	花山
2/19(日)～ 3/3(金)	第18回くりこま商家のひな祭り	栗駒
2/19(日)～ 3/3(金)	みちのく風土館ひな祭り	栗駒

■お問い合わせ 地方振興部 商工・振興班 Tel：0228-22-2195

農林産物の放射性セシウム濃度を検査し安全性を確認しています

(平成 28 年 10 月 24 日～12 月 22 日)

北部地方振興事務所栗原地域事務所

10月24日から12月22日までの間に農林産物31点を簡易検査し、すべてが食品の基準値(100ベクレル/kg)以下でした。

このように、市場に流通している農林産物は計画的に検査して安全性を確認しておりますので、安心してお召し上がりください。

☆簡易検査の測定値が基準値以下であったもの(10/24～12/22)

農産物			林産物			
品名	施設	露地	品名	施設	露地	野生
ウコン	—	◎	自然薯	—	—	◎
かぶ(2点)	—	◎	原木ヒラタケ	—	◎	—
かぼちゃ	—	◎	原木ムキタケ	—	◎	—
きくいも	—	◎				
キャベツ(3点)	—	◎				
グリーンポール	—	◎				
さといも(2点)	—	◎				
しゅんぎく	—	◎				
だいこん(3点)	—	◎				
たまねぎ(2点)	—	◎				
つるむらさき	—	◎				
ながいも(2点)	—	◎				
にんじん(2点)	—	◎				
ねぎ(2点)	—	◎				
野沢菜	—	◎				
はくさい	—	◎				
ほうれんそう	—	◎				
ヤーコン	—	◎				

◎：基準値以下 —：検査未実施

※「原木ムキタケ」は、認証登録者が生産したもの

食品群	基準値(1kgあたり)
飲料水	10ベクレル
乳児用食品	50ベクレル
牛乳	50ベクレル
一般食品	100ベクレル

詳しくは厚生労働省 HP を
ご覧ください。

http://www.mhlw.go.jp/shinsaai_jouhou/shokuhin.html

- お問い合わせ 農業振興部 先進技術班 Tel: 0228-22-9437 (農産物)
林業振興部 林業振興班 Tel: 0228-22-2381 (林産物)

発行：宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所 (地方振興部)
〒987-2251 宮城県栗原市築館藤木5-1 Tel: 0228-22-2195(直通) Fax: 0228-22-6284
E-mail: nk-khsinbk@pref.miyagi.jp
ホームページ <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/9.html>

※次号(第30号)は平成29年3月1日発行予定です。